



The letter of Shinseisakuza

新制作座だより

<http://www.shinseisakuza.com>



2021 AUTUMN vol.22



新たな一手を編み出した 新制作座

— 文化庁A.F.Fの採択を受け —

皆

様ご無沙汰しておりました。11月の声を聞き、今年も後2ヶ月を切りましたが、文化庁のA.F.F(ARTS for the future)の助成金採択を受ける事となり、3つの取組を行なっています。

10月は、熊本市でのコンサート、11月にドラマティックリーディング『野盗、風の中を走る』を世田谷区成城で、12月に岐阜県各務原市の村国座での『泥かぶら2021バージョン』の公演と続きます。

『泥かぶら2021バージョン』は小規模な小学校公演にも対応出来る様に、台本の見直しから舞台セット、照明、演出を新しく考えた労作です。

『野盗、風の中を走る』も配信向け声の劇場として準備していましたが色々な紆余曲折を経てドラマティックリーディングと名うち生の舞台でお送りします。

熊本の公演は新制作座を発展的に拡大した「マヤマ・アートカンパニー」のメンバー、ピアノ座を中心に熊本在住の音楽家たちとのコラボレーションが新しい花を咲かせるに違いありません。

ステイホームの日々から、新たな一手

を編み出した新制作座のこれからの活動には
非ご注目、ご期待下さい。
(記・真山蘭里)



8月6日高尾ホールにて 『泥かぶら』守谷配信守谷市全中学校配信公演でのカーテンコール

ピアノ座より

成

城ホールでのウェルカムコンサート^(*)は、四手の連弾の他に、ピアノ座としては初の2台ピアノによる作品も披露いたします。これまでの連弾とは一味違う音圧を是非ご堪能ください。

また来年3月には立川市のチャボビバホールで、3人それぞれのソロ曲を含めたポリュミーなプログラムをお届けする予定です。詳細は…鋭意構成中なので、続報をお楽しみに！

劇団の皆様をはじめ、コロナ禍でも応援して下さいの皆様のお力添えで活動できているピアノ座。



ピアノ座 左から 渡邊灯人、湯本秋帆、酒井悠登

こんな厳しい状況の中でも私達がいま演奏できるのは、本当に皆様のおかげです。言葉では伝え切れない感謝の気持ちを、音楽で一杯皆さまにお届けしたいと思います。(ピアノ座・湯本秋帆)

*ウェルカムコンサート…2021年11月27、28日のドラマティックリーディング『野盗、風の中を走る』公演と共に上演(5面参照)

「演劇・泥かぶら」

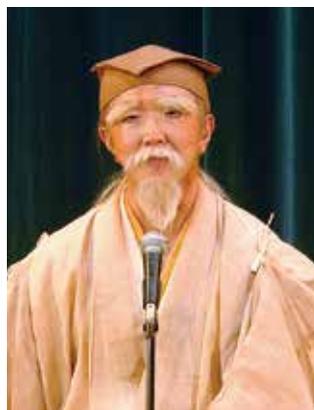
新キャスト紹介

この夏、新たなメンバーを迎えて、泥かぶらの配役が大きく変わり、オンライン配信の公演を行いました。

老翁・丹聡——『野盗、風の中を走る』では、爾光寺の住職と侍大将の2役で活躍。180cmを超える体格と朗らかな人柄が魅力。

次郎兵衛・眞山 蘭里——老翁から次郎兵衛役へ、全く異なる人物の造形に挑みます。『野盗、風の中を走る』では、独眼の太郎役で登場。

中年の女・岬万泰——『万国旗の子』のスマ役で新制作座の舞台に登場。以来10年振りの出演。優しさ&好奇心に溢れた得難い存在。



老翁：丹聡



次郎兵衛：眞山 蘭里

太郎兵衛・丹下一(Tama + project 主宰)——『泥かぶら』惣兵衛役から今回は太郎兵衛役へ。『野盗、風の中を走る』では、はやての弥藤太役で活躍。経験豊富なありがたい先輩俳優。

梅吉・橋本 樹里——秋田美人が少年役に初挑戦！『野盗、風の中を走る』では、村娘茂代役で登場。

三郎兵衛・酒井 悠登——ピアノ座メンバー、今回芝居に初挑戦。『野盗、風の中を走る』では、音響効果助手から幾つもの役で出演。



中年の女：岬万泰



太郎兵衛：丹下一



梅吉：橋本 樹里



三郎兵衛：酒井 悠登

村の童・岩本幸也——2歳で堂々と初舞台(祝！)

「演劇・泥かぶら」

コロナ感染に負けな い頼もしい客席

—2021年7月16日

八王子学園公演—

八

王子いちようホールにて、八王子学園中等部の生徒さん300名余をお迎えして『泥かぶら』公演を久々に行いました。

出来るだけの感染対策をした上で、校長先生はじめ諸先生の熱意、好意によって実現しました。

舞台から届けられた感謝の思いを、マスクを付けた若い客席は確実に受け留めてくれました。言い様がない不安感を一時忘れ



守谷市全中学校 オンライン配信準備の様子

て、青少年の様々な悩み、苦しみ、願いを共感でき、今までにない充実感を得た一日でした。

(記・斉藤平)

「演劇・泥かぶら」

新たな試み

—2021年8月6日

茨城県守谷市中学校
オンライン配信公演—

— 本の電話が鳴った。3年に一度、市内の全中学校に観

ていただいている守谷市教育委員会からでした。

今回の公演は中学校の体育館ではなく、映像配信でのご要望で、新制作座のホームグラウンド星槎高尾ホールでの撮影となりました。

朝から綿密な打ち合わせと仕込みを行い、いざ本番。配信公演を応援しに地元のお客様も少数来ていただきました。

今回私は久しぶりの惣兵衛役で、三郎役は初めての酒井悠登さん。当日は暑さが厳しく意識が飛びそうになりましたが無事オース(※)まで終え、いつもならすぐにバラシといったところですが、

そこから各中学校にメッセージの収録。悠登さんは三郎の衣装(毛皮)を着たまま頑張り、ほんとお疲れ様でした。そして初舞台おめでとう!

(記・亀川忠助)

*オース…一番最後。

「イベント」

日野市中央公民館 平和事業

—2021年8月22日—

星

椋国際高校立川では、この事業に関わり学生たちが運営スタッフとして活躍しています。

今回、新制作座が初めて参加させて頂きました。出演したいと思ったきっかけは『絢爛たるバラの花』(昔出版したソノシート・薄いレコード)に収められている、眞山美保の朗読『昭和18年9月』、トルコの詩人ナジム・ヒクメットの『六つの少女』を聞き直して感動したからです。

この機会に私も勉強して朗読したい、何よりも眞山美保のこの声を聴いてほしいと思ったのです。戦争を体験した世代が少なくなつた今、芸術家が語るあの時代

の証言は貴重であり、語り残した記憶です。また、このような企画が出来れば有難く思います。

(記・小津和知穂)



日野市中央公民館 平和事業

「泥かぶら2021バージョン」

『泥かぶら2021 バージョン』誕生

—大道具製作の記—

『泥かぶら』誕生から70年。一般公演を中心に小学校での公演も行って参りましたが近年では少子化の中で生徒数も減り、学校単位での公演が難しくなつて来ていました。

そこで作品の精神を損なうことなく少人数の学校でも公演出来る様にとセットを考え作製、以前は4、5時間掛かっていた仕込み時間も短縮、舞台天井に上る事なく舞台設営が可能となりました。

子どもの時に感動した思い出



新しい大道具

一生の宝物になります。これから出会えるであろう子ども達の事を想いながら材木を曳、釘を打ち、新しい道具を造りました。

(記・山形久人)

ドラマティックリーディング

「野盗、風の中を走る」

未知の演劇ジャンルを創造

前号で紹介した、ドラマティックリーディング『野盗、風の中を走る』の寒稽古。

その後夏稽古に入ると新型コロナ第5波の猛威を受けて、読み合せも半分はリモートで。9月に入って、ようやく舞台上に二重(*)を入り組んでの立ち稽古、しかし三密を避けての演出に意見百出、侃々諤々、さながら野盗七人組を彷彿させる騒ぎで、演出の眞山知穂は悪戦苦闘、試行錯誤を繰り返した

が、結局我々は全く未知の演劇ジャンルを模索しているのだという事に気付いた。百枚に及ぶ舞台写真にキャラクター画等を加えて映像を創り、新しいリーディングの形式を創造しつつある。

「美保先生の原作が厳然と光っている、安心して冒険するがいい。」稽古を見学した元劇団員の先輩の言葉である。

11月、どんな舞台になるだろう。期待は膨らむ。

(記・込山慶二郎)

*二重：二重舞台(にじゅうぶたい)。平舞台より一段高い舞台。平台と箱馬を組み合わせ、必要に応じて平舞台上に組み立てる。

「泥かぶら2021バージョン」

何より嬉しい

「楽しかった!!」

— 2021年10月12日

玉島北中学校公演 —

とうとうこの日がやってきた!この日を迎えるまで、

もう私たちも先生方も祈るしかなかった。そんな中フルートの音とともに『泥かぶら2021バージョン』は幕を開けた。

学校側の要望は90分、休憩を5



玉島北中学校公演のリハーサル風景

分縮め泥かぶら役は超早替わり、2階運び上げ、さらに楽屋はもう1階上でみんなも必死。

当日の舞台はスムーズに流れ、各回の終わりにまとめて大きな大きな拍手! 2回目の終わりに代表の生徒さんからお礼の言葉と大きな花束を頂いた。「楽しかった!!」このコロナ禍でこの言葉は何より嬉しい言葉だった!

翌日教頭先生から「感想文を読んで生徒たちの感性は凄いなと感じ、本当に観せてあげられて良かった」というお電話...無事に終わり、神に感謝!

(記・木村幸子)

「ピアノ座」

『月一コンサート』

渡 邊灯人君、酒井悠登君、湯本秋帆さん、東京音楽大学出身の若きピアニストの仲間が、新制作座の歩みに加わった事は皆さんご存知と思います。

劇団の歴史をふり返ってみても、演奏部門でのこの3人の参加による充実ぶりは将に画期的な事と申せましょう。その一つが最初に書いた『月一コンサート』! 少しずつですが常連のお客様も付き始めました。

そして、更に素晴らしい報告。悠登君が『泥かぶら』の三郎兵衛役、灯人君が声の劇場『野盗、風の中を走る』の、つっぱしりの源役で俳優デビューです! 秋帆さんも学校紹介用映像の音楽創り、生演奏と新境地!!

3人の活躍に、乞う御期待。

(記・原泰賢)



ピアノ座「月一コンサート」ポスター

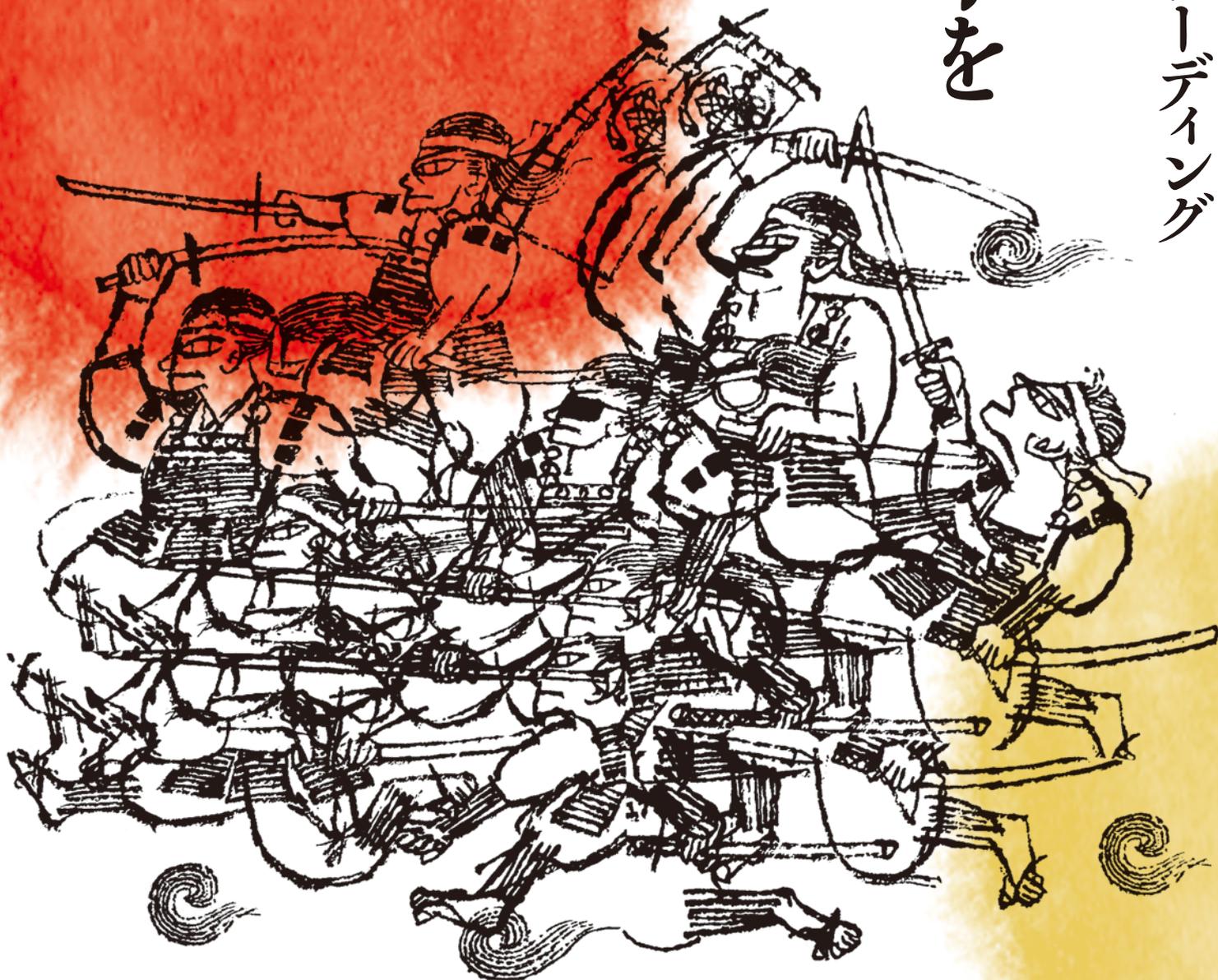
劇団 新制作座
マヤマ・アートカンパニー
結成記念公演
「未来へのバトンタッチ！」

疲れた心と
体に良く効く
異色の戦国絵巻！

作・真山美保

野盗、 風の中を 走る中を

ドラママテイツクリーディング



2021年
11月27日(土)・28日(日)

- ピアノ座・ウェルカムコンサート
開演 11:00 (開場 10:15)
- 本編《野盗、風の中を走る》上演
開演 13:45 (開場 13:00)
上演時間 3時間 30分 予定

会 場：成城ホール (砧区民会館)
チケット：大人 5,000円 25歳以下 3,500円
限定 120席 (全席座席指定)
主 催：NPO法人 劇団 新制作座
協 力：星槎グループ

野盗、 風の中を 走る

作・眞山美保



ものがたり

時は戦国乱世の時代、あまた群盗の横行するうちに、とりわけ豪胆を誇る向坂七人組。彼等は皆いかめしい士族名前を名乗り合ったが、実は武士は一人もいなかった。水呑み百姓・脱走囚・人夫・博奕打ちくずれの成れの果て…。

今宵、豪族の館に押し入り、奪い、殺し、火を放ち、勝ち名乗りを上げるのだった。

奪った財宝は意外に多く、深手を負った頭領の治療と皆の休息の為「八重山の郷」という、桃の花咲きほころび、茶種美しく、美人が多いと評判の豊饒なる村へ向かうのだった。

だが、彼等が辿り着いて見たものは、見渡す限りの痩せこけた耕地、飢えた子どもがぼんやりと戸口に立つ光景だった。そこへ追手が迫り窮地に立たされた彼等は、荒れた古寺の門を叩くのです…。

笑いと涙の中、物語は麻のごとく乱れに乱れて…さて…郷の衆と7人組の運命やいかに！
55年の時を超えて今蘇る異色戦国絵巻！

ごあいさつ

『泥かぶら』の作者眞山美保の8作目『野盗、風の中を走る』は、1958年1月、厳冬の北海道にて初演。再演、三演を含め全国を巡演、上演回数774回。1961年東宝で映画化、同年12月、歌舞伎座興行で大評判となった戯曲です。残念ながら『野盗、風の中を走る』の映像は残されていませんが、舞台の音声がオープンリールに保存されていました。

懐かしい先輩方の若々しい声、激しく胸を揺さぶるドラマと客席の反応、聴いているうちに泣けてきて力が湧いてくるのを感じました。

この度、魅力あふれるキャストを迎え、諦めない心で全ストーリーを読み抜きます。当日は楽な服装でお越しいただき、最後までお聴きいただけましたら幸いです。ありがとうございます。

ドラマティックリーディングとは

俳優達が語る物語の登場人物と、映像と音響効果で構成することで、観客の自由な想像力に委ねる舞台です。

スタッフ

作 ————— 眞山 美保
演出 ————— 眞山 知穂
音楽 ————— 木下 忠司
照明 ————— (株)MOON LIGHT
舞台監督 ——— 梅津 敦
音響・効果 ——— 斉藤 平
演出助手 ——— 酒井 悠登
イラスト ——— 粟津 潔
大道具 ——— 劇団製作部
衣装 ——— 劇団衣装部
記録 ——— Tech Raft
映像 ——— 湯本 秋帆

水車の兵六 ——— 釣舟 大夢 (Team Omelet)
つむじ風の太十 — 岩本 淳也 (MONONOFUGUILD)
むつりの弥助 ——— 亀川 忠助
なが耳の五郎 ——— 込山 虔二郎

村方

爾光寺住職 ——— 丹 聡 (客演)
名主六郎次 ——— 関口 佳男
翁丸 ——— 山形 久人
村娘 志乃 ——— 福島 里佳
志乃の兄 ——— 近衛 謙
加代 ——— 上杉 綾
村娘 茂代 ——— 橋本 樹里 (客演)
茂代の母 ——— 江崎 はんな
中年の女 ——— 木村 幸子・大石 晃子 他
若い百姓 ——— 佐藤 直人 (客演)

城方

尼崎義輝 (声の出演) — 梶山 滋
侍大将 ——— 丹 聡 (客演)
ナビゲーター ——— 神谷 令子

キャスト

向坂七人組
独眼の太郎 ——— 眞山 蘭里
はやての弥藤太 — 丹下 一 (tama+project)
つつ走りの源 ——— 渡邊 灯人

ピアノ座・ウェルカムコンサート

東京音楽大学器楽科ピアノ演奏家コース卒の3人の同窓生、渡邊灯人×湯本秋帆×酒井悠登で結成されたピアノ座。个性的で愉快的な彼らの奏でるピアノで皆様のご来場を歓迎いたします。

★ コロナ禍で苦闘する若き演奏家達へのご支援をロビー・受付に設置の募金箱にご協力を賜れますようお願い申し上げます。

※休憩

昼食のための休憩 (12:00~13:00) ※休憩中は舞台転換の為ホール内に入場できません。『野盗、風の中を走る』本編上演 (13:45~終演 17:15 予定) コンサートからでも本編からでもご自由にご覧いただけます。休憩後の再入場の際、受付にチケットの半券をお示しください。

※感染対策について

新型コロナ感染拡大防止に努め、安心して観劇していただくためにご協力をお願い申し上げます。
○入場の際の検温・消毒 ○マスク着用 ○チケットはご自身でもぎり箱へお入れください。
○入場券の裏面に**お名前・連絡先をご記入ください**。○会場内での飲食はおやめください。
○会話をお控えください。

チケットお申込み・お問い合わせ

●NPO法人 劇団 新制作座 webサイト
<http://www.shinseisakuza.com>

劇団 新制作座

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町2-1419
TEL.042-661-0001 FAX.042-661-6702
e-mail: info@shinseisakuza.com



会 場

●成城ホール (砧区民会館)
〒157-8501 世田谷区成城 6-2-1
電話 03-3482-1313
<https://www.setagaya.co.jp/>

- 小田急線：
・成城学園前駅から徒歩4分
- バス：
・小田急バス
成城学園前駅下車 徒歩5分
・砧総合支所下車0分



「演劇・泥かぶら」

故郷の愛

— 2021年10月8・9日
島根県美郷町公演 —

島

根県邑智郡美郷町は私の故郷です。4年前の公演の時「小学一年生が観劇してないから次は5年後だね。」と当時の教育長さんと約束し、あれから4年が経ちました。来年度の打ち合わせでご連絡をしたところ、コロナ禍で劇団の公演数が激減し、単独での公演は難しくなり、一度諦めました。しかし、正直に劇団が厳しい事をお話したら、担当の岩谷さんが、「岡山公演があるならやりましょう！」とその場で即決してくださり実現しました。公演が叶ったので、少しでも恩



嘉戸町長さんとゆるキャラみさ坊を挟んで



島根県美郷町公演のお客さまと一緒に

返しをせねばと、今回の泥かぶら班に美郷町のお土産を買って帰ってもらおうと宣伝しました。美郷町の特産品は何といっても「山くじら」！猪の事をそう呼びます。他所の猪肉とは一味違い柔らかく癖が少ないのが特徴です。また島根県民のソウルフード「赤天」もお勧めです。魚肉のすり身に赤唐辛子を練り合わせ、パン粉をまぶして揚げている総菜です。

島根県入りした初日。早速買い物に出かけた3人から、「りかさん！赤天美味しかったです！」と感想を聞いたのですが、あれ？調理器具は？どうやら生で食べてしまったようです。家族に話をし

たところ、「炙って食べらん人初めて見たあや。」とびっくりしていました。恐らく今頃、炙って食べなかった話題は町中に広まっていることでしょう。

公演は美郷町の皆さんの暖かい拍手から始まりました。一幕毎に拍手で応援して下さい、面白い時には笑い、共感して泣いて下さったりと、舞台と客席が一体となった公演となりました。今回、美郷町の子どもたちに『泥かぶら』を観て貰えなかったのは残念でしたが、また4年後呼んでもらえる事になりました。

コロナ禍にも拘らず公演を決めて頂き、そして観に来て下さった町民の皆様感謝すると共に故郷の愛を感じた3日間となりました。（記・福島里佳）

「演劇・泥かぶら」
「ドラマティックコンサート」

クンラポポロ（*）

4年連続の熊本公演

— 2021年10月29日、
11月2日 —

2 016年、熊本大地震に驚き、何とか被災地へ行

き、プレゼント公演をしようと決めました。

しかしその願いが叶ったのは2年後の2018年。熊本の皆様は熱い心で迎えて下さり、何と、5日間9ステージがたちまち決定。県内の毎回異なる体育館を駆け巡った日々！その時応援して下さいの方々、「良い事は継続しよう」と言って、翌年も翌々年も公演をつくって下さいました。

そして今年。昨年公演予定の高校公演が延期で今年になり、再び熊本へ。それならば一般公演も！ということ、4年連続の公演決定。10月末から始まったこの旅公演は宝物のように思えます。

強い思いは必ず伝わり、そうして生まれた縁が未来を創っていく。その証しのような。

クンラポポロ・人々と共に。 （記・江崎はんな）

*クンラポポロ…エスベラント語で「人々の中で人々と共に」の意。



熊本市「6人の芸術家をかこむランチコンサート」チラシ

Information

文化庁AFF (ARTS for the future!) 採択公演

●ドラマティックリーディング『野盗、風の中を走る』

2021年11月27-28日 会場:世田谷区 成城ホール

詳細情報: 5面、6面参照。

●『泥かぶら2021』村国座・初公演

2021年12月11日(土) 会場:村国座

開演13:30(開場13:00)

チケット: 桟敷席5,000円

一般席2,500円(大人) 500円(子ども)

☆大人お一人様に付き、子ども2人迄

入場券申込・お問合せ:

NPO法人 劇団新制作座 tel: 042-661-0001

各務原事務局:米澤誠二 tel: 090-2614-2391

(L・L・P事業共同組合(社会貢献事業))



村国座

明治10年(1877)に建設。昭和49年に国の重要有形民俗文化財に指定される。

〒509-0104

岐阜県各務原市各務おがせ町3-46-1

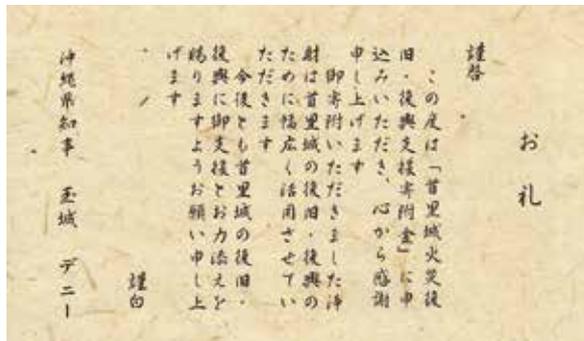
各務原市公式ウェブサイト
<https://www.city.kakamigahara.lg.jp>



News

沖縄県「首里城復旧支援金」寄付のご報告

前号の「新制作座だより」でお願いいたしました、首里城再建のための支援金募集に総額66,000円が集まりましたので、沖縄県にお贈りしました事をご報告いたします。ご協力下さいました皆様に心より御礼申し上げます。



沖縄県知事からのお礼状

●新制作座クリスマスパーティ

2021年12月25日(土) 18:30~

会場:星槎高尾キャンパス 劇団新制作座 食堂

参加費: 大人3,500円 子ども1,000円

申込み締め切り: 12月21日(火) 申込み先: 新制作座



同封の郵便振替用紙について

『野盗、風の中を走る』 前売り券☆好評発売中

チケット申込・支払票を同封いたしました。

ご来場を心よりお待ちしております。

賛助会費のお願い

ご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

編集後記



眞山 蘭里

稽古の朝、凜としたホールの空気も冬へのサイン。しかし作品への思いは熱い。



小津和 知穂

保護犬だった日向くんのぬくもりに癒されるこのごろです。



込山 虔二郎

愛猫昇天・・・ブルーな秋です。でも心は前向き・・・。



斉藤 平

天高く 馬肥ゆる秋
我が心 穏やかに 穏やかに



亀川 忠助

「西日して 毎日に赤らむ柿の数(*)」わずかな変化を感じることが大事!

(*)杉田久女 作



山形 久人

マスクを外し、肩が触れ合い、笑い声が響く劇場に早く戻ることを願います。



木村 幸子

「変わらない為に変わり続ける!」脱皮して脱皮していつも柔かな心を目指したい!



福島 里佳

レンジで簡単レシピの茶碗蒸しにハマリ中!日本人に生まれて来て良かったー♡



江崎 はんな

最近、身近な生き物達を“ちゃん”付けて呼びます。するとみんな可愛く思えます。



原 泰賢

こうして、皆さんと繋りを保ち続けられている事に感謝。



湯本 秋帆

絶賛ダイエット中!!
絶対に食べ物をすすめないでね♡(笑)



松原ふみこ

表紙写真のイチヨウの木、黄金色に輝く絨毯はスポットライトを集めたよう

広告

ドラマティックリーディング
『野盗、風の中を走る』

上演記念手ぬぐい

お問合せは劇団新制作座まで



11月
上演に合わせて
限定発売
予約受付中!

1枚1,650円(税込)

劇団 新制作座

[新制作座だより] 第22号 2021年10月30日 発行

発行: NPO法人 劇団 新制作座 〒193-0826 東京都八王子市元八王子町2-1419

tel: 042-661-0001 fax: 042-661-6702 e-mail: info@shinseisakuza.com